

○産地の戦略づくり支援 応募地区一覧

(別紙2)

優先順位	品目(地域)	取組主体名	取組内容	協議会メンバー
1	いちご(岐阜)	いちご栽培学習支援システム設計協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・熟練者の栽培管理方法等をウェアラブルカメラなどを用いて計測・分析し、作業ポイントを明確化。 ・経験の浅い新規就農者等でも熟練者同様の栽培が可能となる栽培学習支援システムを構築。 	(株)本丸いちご本圃、JAぎふいちご産地連絡協議会、本巣市、JAぎふ、岐阜農林事務所
2	大豆(西濃)	海津CAFスマート農業検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間を含めた作業適期期間を最大限活用するため、自動操舵トラクタによる暗渠設置、不耕起は種などの効果を検証。 ・狭畦密植栽培である大豆不耕起栽培の病害虫防除について、水田ビークルからドローンに変更した場合の作業効率を検証。 	(株)CAF、JAにしみの、海津市、西濃農林事務所
3	水稻(恵那)	串原地区農業振興協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによるリモートセンシングとデータ分析による施肥量の調整による多収化、防除作業の省力化を検証。 ・除草ロボットによる除草作業の負担軽減効果、対応可能地形等を検証。 ・水田の水位観測、調整による水管理の効率化、省力化を検証。 	農業者、JAひがしみの、恵那市、ロボットビジネス機構、恵那農林事務所
4	水稻(西濃)	関ヶ原スマート農業検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のリモコン式草刈機を使用し、機種ごとのメリット・デメリットを確認するとともに負担軽減効果等を検証。 	農業者、JAにしみの、関ヶ原町、西濃農林事務所
5	水稻(西濃)	海津神桐地区スマート農業検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した収量を維持しながら余分な施肥を削減するための可変施肥技術を検証。 	(農)神桐営農、JAにしみの、海津市、西濃農林事務所

優先順位の考え方

- ① 県内で実証、検証数の少ない品目を優先 (R1実績：水稻(3)、麦・大豆(1)、施設園芸(夏ほうれんそう)(1))
- ② 県内で実証、検証数の少ない地域を優先 (R1実績：西濃地域(2)、岐阜地域(1)、恵那地域(1)、飛騨地域(1))